

## 2018年度 第1回共創サロン

### 公的年金の持続可能性を考える

：『財政検証』をいかに読むか



横山寛和 准教授

本報告では、日本の公的年金の持続可能性をいかに評価するかを考える。公的年金の論点は(1)制度設計、(2)外部の社会経済環境、(3)ガバナンスに集約される。日本において公的年金を論じる際には、厚生労働省が5年ごとに実施する『財政検証』が共通の資料となり、そこでは上記の(1)および(2)が論点になる。それを評価する際には、経済学、財政学、社会政策に加え、保険学や企業年金などの多様な知見を援用する必要がある。

公的年金のような国民の生活に直結する制度を巡っては、扇動的な見出しが注目されがちである。しかし、年金制度は精緻な数理的枠組みにより構築されており、誤解に基づく批判は無用な混乱を招くのみである。必要なことは、その枠組みを適切に評価することであり、それは関連する必要な政策を理解することにつながる。以上のような観点から、年金制度に関わる基本的な理論に依拠して具体的に論じ、求められる対策を考えたい。

◆日時：6月14日(木) 18:00~19:00

◆場所：下関市立大学 本館3階Ⅱ-301教室

◆参加費：無料

◆学生の皆さんも学外の方も、ぜひ奮ってご参加ください。

◆駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

#### ◆共創サロンとは◆

参加者が相互に交流して情報を出し合い意見を交換する場です。テーマは学内の特色ある研究、教育、地域活動の中から、学生や学外の方を含む多くの方に興味を持っていただけるような内容を取り上げます。大学と地域との懸け橋となるよう気軽に参加できるサロンを目指していきますので、皆さん是非ともお越しください。

■お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail [chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp)